

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|----------------|------------|-----------|
| 事業所番号 | 1171900531 | | |
| 法人名 | 医療法人社団愛優会 | | |
| 事業所名 | グループホーム氷川 | | |
| 所在地 | 埼玉県戸田市氷川町1-4-2 | | |
| 自己評価作成日 | 令和5年2月20日 | 評価結果市町村受理日 | 令和5年4月17日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社シーサポート | | |
| 所在地 | 東京都練馬区東大泉3-37-2 | | |
| 訪問調査日 | 令和5年3月24日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

～すべてのサービスはご利用者様のために～を常に考え、利用者様の健康維持やフレイル・サルコペニア予防を目的に日々運動のプログラムを取り入れています。ウォーキング・日光浴・トレッドミル・エアロバイク・階段昇降など利用者様のレベルに合わせ、職員が利用様に意欲的に日々取り組んで頂けるようにしています。毎日が利用者様・職員ともに笑顔溢れる毎日です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

●DVD鑑賞、歌唱、塗り絵など利用者の嗜好を継続できるよう支援にあたっています。利用者が昔を懐かしめる動画の鑑賞など工夫した支援により習慣の継続、能力の維持等に取り組んでいます。
●利用者の好きなメニューを提供する「お楽しみランチ」はのぼり旗をたて、周囲を巻き込みながら楽しませています。日々の食事支援も職員への負担等を考慮しながら利用者の元気につながっています。
●ウォーキングサポーターを導入し、個別の外出や散歩により中心に健康維持とストレス緩和に取り組んでいます。工夫した取り組みにより職員負担と支援充実の両立が図られています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|--|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 定期的に朝礼の際に理念の共有のための唱和、利用者様のレベルに合わせたフレイル・サルコペニア評価・健康維持・体力強化を目指し、職員間の情報を共有しながら実施しています | 水分摂取・自然な排せつ・運動について継続的な目標を据え、日々の支援実践がなされている。管理者が率先し、職員を牽引している。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 以前はボランティアや町内老人会との交流があったが、コロナウイルス感染対策により交流機会が減少。近隣へのウォーキングで外出。近隣の方が手作り製品や日常用品、季節のお花、採りたて野菜などを持ってきてくださる。 | 新型コロナウイルスの影響により地域との交流は縮小・中断している。近隣の方々からはあたたかな協力を得ており、関係の継続がなされている。 | オレンジカフェ開催・避難訓練への地域住民参加について中断しており、新型コロナウイルスの終息状況を見ながら再開を検討している。 |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 認知症ケア相談室を開設し、のぼりを出して表示している。今までやっていたオレンジカフェは開催していない。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 書面での実施を行っている。 | コロナ禍により運営推進会議開催は書面にて代替している。 | 周囲の状況・参加者の意向を見ながら運営推進会議の集合開催再開を検討している。 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 情報はメールにて連絡が来ている。生活保護受給者の受け入れも行っている。地域包括には定期的に電話にて相談・情報交換を行っている。 | 物品の提供等行政からの協力を得ている。指導等を運営に活かし、利用者への安定した支援につなげるよう取り組んでいる。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 現状拘束を行っている例はない。身体拘束廃止委員会設置。定期的に開催している。施設内研修やミーティングで身体拘束をしないための工夫を導き、実践している。玄関は利用者様の事故防止の為施錠している。 | 委員会の開催により確認と指導にあっている。特にスピーチロックについては細かな事項について分析と支援への反映に取り組んでいる。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 虐待防止委員会を設置。定期的に開催している。施設研修やミーティングで職員の人権意識を高める。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 職員には施設研修で学んで貰っている。後見制度を利用されている利用者様の様子は連絡を取りお伝えしている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約締結前にしっかりと質問・疑問を伺い、説明、ご理解を頂いた上で記名押印して頂いている | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご意見・ご要望がある際は電話や玄関先で短時間ではあるが伺っている。ご意見・ご要望は職員への周知徹底に努めている。 | コロナ禍にあっても場所・時間等を考慮しながら面会がなされている。本評価の家族アンケートにおいても日々の支援に対して感謝の声が多数寄せられている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎朝のミーティングで話し合ったり、フロアノートに記載して情報共有。管理者は常に職員の意見に耳を傾け、皆の意見を拾い上げるよう努めている。 | ミーティングや朝礼において情報の共有に努めている。環境・感染等の係からは留意事項等の指示・連絡がなされており、連携および支援体制が構築されている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 希望休に対して柔軟である。色々な時間帯での働き方が出来ている。職員の個人面談を実施。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 資格のない職員には入職後、認知症介護基礎研修実施。ZOOMでの感染症対策の研修やBCP(業務継続計画)策定研修参加。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | コロナ感染症対策のあり、交流はほとんどない。他の同業者からの相談はあったが、実現されていない。同業者からの依頼があれば協力したい。かかりつけ医とは利用者様の様子変更を密に報告できるようになった。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ご家族・ケアマネからの情報をもとに入居時本人との会話を通し困りごと、好きなことなどを探っている。コミュニケーションを取り、職員に情報共有をしている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 施設見学の段階で、ご家族の要望や心配事などを出来る限りお聞きして、安心してご入居できるように対応している。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご利用者本人ご家族から聞き取りをしたうえで見極めをして、サービスの提供をしている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 日常生活において一緒にやっている家事などを共に支えながら関係性を築いている。利用者様から教わることも多々ある。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族の要望や状況に応じて多機能性を生かして、柔軟な支援をしている。手書きのお手紙で様子報告、写真などをおくっている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 以前はオレンジカフェに参加されていた方との交流があったが、コロナ禍で実施できていない。 | DVD鑑賞、歌唱、塗り絵など利用者の嗜好を継続できるよう支援にあたっている。利用者が昔を懐かしめる動画の鑑賞など工夫した取り組みがなされている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 日中はデイルームにて全員過ごされる。午後からは利用者様・職員とともにゆったりとお茶を飲みながらお話をする時間がある。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービス終了後もご家族からの相談、その後の様子の連絡があり、対応している。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | よく観察し、本人の気持ちに寄り添ったケアをしている。 | 利用者の態度や反応を見ながら意思の確認にあたっている。利用者の状況はソーシャルネットワーキングサービスを活用し、情報の共有に努めている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご家族からの聞き込みや、ケアマネからの情報を職員で共有している。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々の変化、心身の状態を毎朝のミーティングで報告し情報を共有している。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 計画作成担当者は職員、看護師と話し合い目標達成に向けた介護計画を作成している。心身の状況に変化を生じた際は、状態把握及び課題分析を行っている。 | ホームの方針をケアプラン策定に反映している。利用者本人が目標を意識し、健康の維持と生活の楽しみにつなげている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 介護計画の期間に応じ見直しをしている。日々の介護記録やミーティングを通し、サービスが効果的に機能しているかを確認し、見直しを行っている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ニーズに応じ医療機関の受診は行っている。コロナ化で行きたい場所への外出は行っていないが、室内で出来る塗り絵や編み物、歌を歌うことを実施。食べたいものを聞き、お楽しみランチを実施。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | コロナ禍の影響で地域との交流はしていない。近隣の公園にはウォーキングに出かけている。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 1か月2回の往診に来てもらっている。日々の心身状態を記録し、状態変化があった際は相談、往診に来てもらっている。 | 協力医療機関による往診を中心に受診対応がなされている。また看護師の配置により日々の健康維持に取り組んでいる。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護師には積極的に利用者様とのコミュニケーションをとってもらい、体調変化や健康チェックに気を配り、24時間職員に対しての相談に適切な指示を行っている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院した際は担当医や看護師、相談員から情報を頂き、退院時の受け入れの準備を行っている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居の際にご家族の方針を伺い、書面にて保管している。体調の変化があった際には再度方針を再確認している。ホームでの可能な支援を伝え今後の支援・急変時対応を職員間で共有している。 | 重度化への対応については入居時等を中心に説明にあたっている。生活の中での変化や家族の気持ちに沿いながら柔軟な対応に努めている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 急変時には往診医に連絡。玄関にはAEDを設置、急変時に備えている。事故発生時の備えについてはBCP(事業継続計画)の研修参加、BCP作成。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 定期的に避難訓練や、防災点検を実施している。災害時に備えについてはBCP(事業継続計画)の研修参加、BCP作成。 | 敷地内での避難訓練実施により万一の事態への備えと確認にあたっている。スプリンクラー、自動火災報知器、非常誘導灯を設置し、対応を図っている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | ひとり1人の居室が有り、ひとりで過ごせる場所がある。お話するときも目線に合わせて傾聴している。 | 利用者の意欲を大切にしながら運動や歩行の実施がなされている。入浴・排せつ支援時にもプライバシーに配慮し、尊厳の確保に努めている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 利用者様の言動は否定せず受け入れる。思いや希望を表現しやすい関係性を保てるように努めている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 業務の流れはある程度決まっているが、利用者様のペースを大切に柔軟に対応している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 整容、身だしなみは毎日やっている。定期的に理美容での散髪を利用している。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | コロナ禍で外出しての食事は出来ない。利用者様の希望を聞いてお楽しみランチを実施。食事の前のテーブル拭き、お茶入れ、お茶碗洗いをお手伝いしてもらっている。 | 利用者の好きなメニューを提供する「お楽しみランチ」はのぼり旗をたてながら楽しまれている。職員への負担等を考慮しながら食への取り組みが継続されている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 医師・看護師にも相談しながら個々に合わせた食事形態で対応している。カリウム値の低い人がいたら、食事でも対応している。水分量も個人記録で常にチェックしている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 食後の口腔ケア、定期的な訪問歯科受診、口腔衛生管理に係わる助言をもらい、施設での口腔・マネジメント計画を実施。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 個人記録を活用し、排便に関しては常に情報を共有している。おむつ使用の方でもトイレでの排泄が出来る様支援している。失敗されて落ち込まれる利用者様にはプライドと羞恥心に配慮した声掛け対応をしている。 | 自然な排せつを方針とし、時間による誘導によりトイレでの排せつを支援している。デジタルデータによる記録システムが導入されており、タイムリーな確認と共有によりホーム全体でのケアに取り組んでいる。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 自然な排便を促すようにまずは運動、水分摂取を行っている。プルーンを使用している。食事がうまく取れない方に関しては医師・看護師に相談している。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 入浴日は決められているが、出来る限り個々の希望やタイミングで入浴できるように支援している。入浴の記録をし、皮膚状態を確認、情報共有している。 | 利用者の状態や気分を把握し、柔軟な対応と支援により清潔の保持に努めている。入浴時の確認とチェックによりスキントラブル防止に取り組んでいる。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 快適な温度調節を心掛け、日中は身体を動かし、就寝前落ち着いた時間を過ごしてもらえるように支援している。週1回のシーツ交換。晴れた日には布団を干している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬局が個々にセットした薬を日付と名前を確認して服用している。個々によって直接口に入れたり、粉碎してもらったりと対応している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 出来ること、自信を持って笑顔が沢山見られることを職員が把握して日々を過ごせるように支援している。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | コロナ禍で全体での外出は出来ていない。個人的にご家族とお米を買いに遠くまで出かけたり、お墓参りに出かけている。 | ウォーキングサポーターを導入し、個別の外出や散歩により中心に健康維持とストレス緩和に取り組んでいる。工夫した取り組みにより職員負担と支援充実の両立が図られている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 利用者様やご家族の要望により、職員が代行で買い物の援助を行っている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご家族からの電話の際にやり取りの支援、利用者様の希望があれば電話をしたりしている。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | トレッドミル・エアロバイク等天候に左右されず、運動が出来る環境にある。室内ウォーキング・階段昇降も実施。季節の物を飾ったり、庭で咲いている花を摘んだり、頂いたお花で季節を感じてもらっている。 | 清掃・消毒により清潔な共有空間が維持されている。室内での歩行や階段の昇降など限られたスペースを活用しながら戸外活動の補填がなされている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ソファや椅子を廊下にも設置し、自由な時間を過ごせるように工夫している。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には使い慣れた家具、好みのものを持ってきて頂き、馴染みのある落ち着いた空間づくりを行っている | 日中はリビングでの活動が中心であり、休息や睡眠等に活用がなされている。特別に居室担当職員制をせず、ホーム全体・職員の連携をもって支援充実に取り組んでいる。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 自分の部屋がわかる様に居室ドアにご自分の写真を貼っている。浴室、トイレはイラストや分かりやすく表示している。 | | |

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|-----------------------------------|--------------------|-----------------------------------|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 49 | コロナも制限が緩和されてきたので、個別を含めた外出支援を行いたい。 | 個別を含めた外出支援をする。 | 外食や季節の行事をご家族、地域の方々と楽しむ。 | 12ヶ月 |
| 2 | 10 | コロナの為面会は時間と場所を制限されている。 | 面会の時間と場所の制限をなくしたい。 | マスクの着用を要するが、ご家族と居室でゆっくりと過ごして頂きたい。 | 12ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。